

## 令和2年度 第1回学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和2年6月30日(火)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者  
委員  
遠山 武美 須賀東地区自治会長  
神谷 政人 中部地域づくり協会  
熊田 ますみ 平成医療短期大学教授  
長屋 恭一 同窓会長  
木下 ひかる 同窓会常任理事  
廣瀬 孝子 PTA役員(副会長)  
高田 裕子 PTA役員(会計)  
  
学校側  
野田 正明 校長  
鷺野 輝男 事務部長  
下平 義広 教頭  
加藤 昌宏 教頭  
岡田 心一 教務主任  
片桐 一色 進路指導主事  
郷 龍雄 生徒指導主事

### 5 会議の概要

- (1) 校長挨拶・学校運営協議会の目的と役割・委員紹介
- (2) 委員の委嘱
- (3) 学校の教育方針・指導の重点、「教務部」「進路指導部」「生徒指導部」の運営方針・本年度の取組等の説明と意見交換
- (4) ふるさと教育の取組説明と意見交換
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と学校教育活動について意見交換
- (6) 地域連携協力の在り方、地域として学校への期待、質問、提案等
- (7) 各委員からの質問等に対する回答を6月30日～7月1日に電話及び紙面で実施

### 6 会議のまとめ

- (1) 会長及び副会長の選出  
互選により[会長]長屋 恭一様、[副会長]遠山 武美様に全会一致で決定した。
- (2) 教育方針・指導の重点等の承認  
本校の教育方針・指導の重点等の資料を確認いただき、全ての委員の承認を得た。  
<承認に係りいただいた意見>  
委員A・子どもたち一人一人の適性を理解しての育成は重要ですので、職員の皆様が力を合わせて育成をお願いしたい。  
委員B・総合学科ならではの「個に応じた指導」と「将来を見据えた社会性」等の導きをお願いしたい。

委員C・学習指導の重点や進路指導の重点から、貴校の教育方針である人間力の育成や生きる力を育むことができると感じた。また、生徒指導の重点から社会人としてあるべき姿の育成を目指していることが理解できる。

委員E・高校で身に付けて欲しい学ぶ姿勢や自主性、人を思いやる気持ちを育てること、そして心身の健康について具体的に示されており、よく理解できた。  
・教育の基本理念の(1)教職員の指導の基本に、教育はチームプレイとあるが、チームワークではなく、チームプレイとした意味を教えて欲しい。

職員・校長の指揮監督の下、責任を持って教育活動に関わる者の集まりである職員は、当然専門とする教科や役割分担も違いますが、誰かが欠けたり失敗しても、チーム学校として助け合って生徒の成長を支援し続けなければなりません。よって、チームワークと置き換えても問題ありませんが、個々の職員の働きで生徒を支援するというより、学校というチームで生徒を支援し続けるという点でチームプレイという表現にしています。

委員F・特色ある9つの系列に分かれて学習できることから、進路実現に向けて取り組むことができる。

委員G・教育方針・指導の重点等に共感できる。

### (3) 教務部の運営方針と取組等に係る意見・感想・提案等

委員A・新型コロナウイルス感染症の影響で時間の制約があり、当初計画した年間指導計画やカリキュラムに従った授業が行えず大変だと思う。しかし、6月から少しずつ元気な子どもたちの声が聞こえるようになり、私たちも元気をもらえるようになった。皆さんで力を合わせ頑張ってください。

委員B・休校中のオンラインでの学習支援や家庭学習、家庭生活を振り返り、どんな状況にも対応できる「生きる力」を育てて欲しい。  
・将来の人生設計等、今だからこそしっかり考えられるよう先生方の指導をお願いしたい。

委員C・2年次の系列学習の中で、3年次に所属する系列や履修する科目の選択について、2年次の系列や選択科目を継続するのか又は変更するのかについて指導・助言されている。進路の迷いや保護者との意見の相違が今後出てくる可能性もあり、必要な指導・助言であるため、継続してお願いしたい。

委員D・探究の時間の学習指導要領での位置づけを確認したい。

職員・「高等学校学習指導要領【総則編】解説（平成30年度告示）」の第4章「教育課程の実施と学習評価」第5章「単位の修得及び卒業の認定」に記載されている「総合的な探究の時間」の扱い等について抜粋し、紙面にて紹介した。併せて、「高等学校学習指導要領【総合的な探究の時間編】解説（平成30年告示）」についても抜粋して紙面にて紹介した。

委員E・電子黒板等のデジタル機器やコンテンツの活用により授業効率が上がるということはとてもよいことだと思う。活用の研究等は大変でしょうが頑張ってください。機会があれば、一度デジタル機器を活用した授業を見てみたい。

委員F・学びやすい環境であり、系列及び科目選択の際は、説明会以外でも先生方が相談にのっていただけるので、スムーズに選択できる。

委員G・5月後半からオンラインでの学習支援が始まり、子供の生活にもメリハリができてよかった。1コマ30分間の配信で、かつ進行に手間取る場面もあり、授業として進めるには課題もあるが、今後また新型コロナウイルス感染拡大により通学が難し

くなつた場合には、課題を改善して有効活用して欲しい。

(4) 進路指導部の運営方針と取組等に係る意見・感想・提案等

委員B・生徒一人一人が将来を見据えた人生設計を2年次前期頃までにできるとよいので、先生方のご指導をお願いしたい。

・「未来航路（進路の手引き等進路指導関係の学校制作冊子）」は、今までの進路の手引きとは違った新しい発想で作成されており、とてもよい。

委員C・「生徒の可能性を引き出し伸ばす」という進路指導目標は素晴らしい。この目標こそが本校の目指すところではないか。また、進学指導の概況に示されている第1志望合格率89%という結果が、3年間の指導方法・指導内容が確立されている証である。

委員D・「未来航路」は大変充実している。生徒や保護者にとって有効に活用されることを期待する。

委員E・「未来航路」は進路を選択するための情報がとても具体的でわかりやすい。また、資料4では細かな分析がされており、進路指導をしっかり行っていることがよくわかった。コロナウイルスの影響で就職に不安があり、進学でも大学入試の方法が変わりつつあるので、対応が大変になるのではないか。

委員F・「未来航路」は先輩方のアドバイスや受験方法などが多く掲載され、進路を決める参考になり大変よい。

委員G・「未来航路」は大変丁寧に作られた資料で、親子ともどもかなり読み込んでいる。作成は大変な労力かと思うが、進路決定に向けてとても参考になる資料なので、今後も続けて作って欲しい。

(5) 生徒指導部の運営方針と取組等に係る意見・感想・提案等

委員B・凛として美しく、第一印象で好かれ、社会性が身に付く人材育成をお願いしたい。

・多様な子どもたちの変化に気づき、声掛けをお願いしたい。

委員C・きめ細かな指導をされており、その結果が各種データに現れている。しかし、遅刻数や欠席数は、同じ生徒の繰り返しによる結果になっている可能性もあり、対応が難しいことが推察できる。保護者の協力が得られるような工夫も必要である。

委員D・生徒自身が自分を律することができれば、校則等のきまりを厳しくする必要はないのではないか。自制心を育てることを目的とした生徒指導であって欲しい。

・生徒の安全が守られ安心して暮らせる学校であるために、生徒指導は必要である。

委員E・挨拶、返事、ルール順守などの本校で身に付けたことは、卒業後の進路先でも続けられているのか。本校では当たり前できていても、進学先や就職先で環境が変わり、自主的に挨拶等ができなくなってしまうのではないか。本校で実践してきた「凛として美しく」を卒業しても忘れないように生徒に伝えて欲しい。

委員F・登校点検を定期的に行っていると思うが、学校を訪れた際に、化粧をしていると思われる生徒を見かけた。決められた日に登校点検するだけでなく、抜き打ちでの点検も検討してはどうか。

委員G・自転車事故を防ぐため、自転車のマナーや規則、法律について年に何回か学ぶ機会があるとよいと思う。

・本校の生徒ではないが、スマホを見ながらの自転車運転を見かけることがある。

(6) ふるさと教育の取組に係る意見・感想・提案等

委員B・地域に愛される学校であるために、地域へ積極的に出かけて学校の取組を知ってもらうとともに、子どもたちの姿を見てもらうことが大切である。子どもは地域で育

つともっと大きくなる。

委員C・とてもよい取組だと思う。社会に出る前に地域の方々と協働することは、とても有意義な経験である。

委員E・「Discover 岐阜」の企画はとてもよいと思う。高校生の目線と感性で私たち大人が知らなかった岐阜を発見してくれることに期待が膨らむ。地域とタイアップした企画も楽しみで、可能であれば岐阜の民芸品、工芸品の体験コーナーがあってもいいと思う。

委員F・とてもよい企画・取組だと思う。

委員G・ふるさと教育が行われていることを初めて知った。本校の取組には誰がどのように参加するのか知りたい。

職員・担当職員が参加方法等について、後日ご案内する。

(7) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と学校教育活動に係る意見・感想・提案等  
ア 夏季休業の短縮や週休日（土・日）の授業実施について

委員C・生徒の学力向上のためには、やむを得ないと思う。3年生の進学・就職活動が円滑に進むよう御指導願いたい。

委員EF・授業時間を確保するための的確な判断だと思う。

委員G・夏休みの短縮は仕方ないと思う。無理のない範囲で授業時間の確保に努めて欲しい。

イ 体育大会・学園祭・研修旅行・海外研修等学校行事の延期・中止について

委員A・市民体育振興会主催の市民体育大会等の行事は全て中止となった。体育大会は学年別や系列別等で、土曜日に行くなど、密にならない対策等の工夫も必要ではないか。

委員C・海外研修での学びは大きいと思うが、種々のリスクを考えると実施は非常に難しいのではないかと。体育大会や学園祭は内容や方法を工夫して実施する方向で進めていただきたい。

委員D・ソーシャルディスタンスの確保をしながらの活動に心がけて欲しい。

委員E・海外研修は得るものも大きいので実施できるとよいが、生徒や先生方の健康や安全を一番に考えて欲しい。

・体育大会や学園祭は中止になると生徒がかわいそうなので、実施方法を十分に検討し実施できるとよいと思う。

委員F・ぜひ実施して欲しい。関係の先生には、「学園祭のPTAバザーはできたものを配達してもらおうようにしてはどうか」と提案した。

委員G・各種行事での食品の提供は慎重にお願いしたい。保護者の手作り提供を中止するなどの工夫をお願いしたい。

ウ 本校独自の「夕焼けコンサート」「観光ボランティア」の在り方について

委員C・夕焼けコンサートは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況から、実施は簡単ではないと思うが、感染防止対策を取ってぜひ実施して欲しい。

委員E・夕焼けコンサートは、地域の方や保護者の方が楽しみにしているので、状況を見て安全と判断されたときにぜひ実施して欲しい。

・地域ボランティア等は、夏場のマスク着用による熱中症やコロナウイルス感染の心配がある。いろいろ対策が必要になるので、安全第一でお願いしたい。

委員F・夕焼けコンサートは、文科系部活動の成果を地域の方に観ていただくよい機会なので、ぜひ実施して欲しい。

委員G・夕焼けコンサートを例年どおり実施するのは難しいと思う。観客を保護者に限定する等の密にならない工夫が必要だと思う。

エ 部活動の実施について

委員C・活動内容によって、3密を避けられる部と難しい部があると思うが、生徒の喜びや成長につながるものであるので、教育委員会から許可が出ればぜひ活動して欲しい。

委員E・高校生活において部活動は大事なので、ぜひ活動して欲しいと思うが、3密対策など細心の注意を払ってほしい。

委員F・3密にならないように活動するのであればよいと思う。活動再開に賛成する。

委員G・部活動が6月中旬から再開されたことはとても嬉しいが、手洗い、換気、部室の使い方は今までどおりではいけないと思う。

(8) 地域連携協力の在り方、地域、保護者として学校への要望、期待、提案、質問等

委員A・「未来航路」に掲載してある校長挨拶冒頭の「君の夢、応援します」は大変素晴らしい言葉だと思う。夢かなわず、夢が破れた時、人はどのようにして新しい道を開いていくべきか、新たな夢を抱き、新たな道を開いていける力をもった子どもたちを育てて欲しい。

委員C・本校の教育活動等のよいところを多くの人に発信して欲しい。その一つの方法としてホームページの充実をお願いしたい。

・現在、部活動の縮小を検討しているかもしれないが、部活動指導に対する教員の負担はどれくらいなのか。また、負担軽減への対応は何かされているのか。

職員・クラス減に伴う教員減への対応と教員の負担軽減のため、複数職員で1つの部を交替して指導できるよう、統廃合の検討や部活動指導員等の外部人材の登用を進めているが、まだまだ十分とは言えない。部活動は生徒の成長や人間形成に大きな役割を果たす大切な教育活動であるため、今後の維持・継続に向けて、指導職員の確保とともに、適正な活動時間及び内容で実施できるよう指導職員等の意識改革にも努めたいと考えている。

委員D・学校内だけではなく、地域においても社会的なマナーを守り、地位住民に愛される生徒であって欲しい。

委員E・卒業後にクラスごとの同窓会が開かれていないのではないかと。系列学習が多く、体育大会や学園祭しかクラスでの取組がない上に、今年はコロナウイルスの関係でその体育大会等の実施も危うい。部活動でのつながりはあっても、クラスでのつながりが薄くなるので、何とかクラスでのつながりも作って欲しい。いろいろ大変かと思うが、同窓会にも相談いただければ協力していきたい。

委員F・様々な教育活動を進めていく中で、生徒のプライバシーは守ってもらいたい。

委員G・子どもたちが健やかに育ち、無事学校を卒業できることを願っている。